

ーヴィン

『輸出経済 その発展の型の

研究に地味な多くの時間を投じなければならなかったことが、 を摘出することが大変な仕事だったこと、しかも制度的要因の 種雑多な国々の経済を纒めて、その中から共通の輸出経済の型 の欠如によることであったろう。しかし幾十という多数の、 められた、みるべき研究成果がなかった。これは一つには資料

歴史的意義 — 』 一九六〇年

逸 見 謙 三

of Development in Historical Perspective, 1960, XV, 347 Jonathan V. Levin, The Export Economies: their Pattern

界の未開発経済は二つのタイプの発展を示してきた。一つは新 非常に多くの文献によって論じてこられたのであるが、戦前世 世界大戦を継起とする変貌の研究である。従来から断片的には 資 (enclave investment) といわれてきている諸経済の第二次 は通常従属経済 (dependent economy) ないし飛び地的投

るであろう。ただペルーに関する敍述はいささか冗長であるが。 要因の理解を必要とする場合には、このような方法は是認され 法を採用しているのである。本書の課題のように多くの制度的 考え、最初に具体例を示し、その後一般的敍述をなすという方 る。いわば著者は、本書の読者が輸出経済に馴染んでいないと 本に関しての分析であり、本書の他の半分は一般論の展開であ の過半を占める)はそれぞれ戦前と戦後の輸出経済の最良の見 アノ時代のペルー、第五章、ビルマ米穀出荷局、の二章(本書 続く一○○頁はその戦後の変革の分析である。また第二章、グ 最初の二○○頁は戦前における輸出経済の分析であり、第二部 輸出経済の戦後の動きに関する部分は高く評価される。本書は く評価されてよい。特に、従来断片的知識しかえられなかった 明らかである。この間隙を埋めたレーヴィンの野心的労作は高 見るべき包括的研究を生まなかった最大の理由であったことは 後進国経済の研究に際しての必読書の一つとして推奨される。 本書は二つの意味において二つの部分よりなる。即ち第一部

タイプの発展である。残念ながら、従来この後者には、よく纒

アフリカ、中南米にある第一次商品の輸出国にみられた

が明らかにしたような大西洋経済の成長と発展である。 大陸にみられた発展のタイプであって、ブリンレイ・トーマス

他はア

なお本書中で最も読みごたえのあるのは第六章、変革の手段、 における租税機構その他の彼述である。 等が輸出経済の発展の阻害要因であった事は確実である。 し、これは北米にもオーストラリアにも作用したことである。

であることは最早や常識であり、ブリンレイ・トーマスの分析 不移動のため生産要因は供給出来ないのであるとなしている。 の移動に基づくのであって、国内的には資本の不足、労働力の 基づくが、輸出経済においてはその発展は外国からの生産要因 通常の外国貿易は生産要因の国内的自由移動と国際的不移動に 例の最良のものは輸出経済の定義そのものに関係する。著者は 経済の性格そのものに由来するのであろう。経済理論に弱い事 著者の能力に申来するというよりも、資料の不足ないしは輸出 しかし古典学派の貿易理論の現実への適用に多くの修正が必要 て、経済理論に弱いとなしうるであろう。尤も、これは本書の 全体としての本書を評すれば、本書は経済制度の敍述に強く ないしは労働力の不足が経済発展の阻害要因であったというこ 出経済では社会投資の不足(教育をも含めて)による外部経済 ことによって工業化したのである。このように考えて来ると輸 市場から、関税障壁その他によって輸入商品その他を追放する あったろう。事実、多くの国々は輸入によって開発された国内 沢品の輸入は、実は国内市場の形成、経済発展に役立つもので ら著者が、経済発展を阻害するものとして紙数を費している贅 で指摘しているように、国内市場が狭かったからである。だか 対象がなかったからである。それは、これ又本書が多くの個所 多くは、本書が多くの個所で指摘しているように、有利な投資 何故投資利潤が毋国に送金されなければならなかったか。その

要因が 極めて多くて (制度的要因を加味した)、 資本ないし労 しないタイプのものであったかという点である。勿論国外送金 初期の米大陸よりも欠乏していたであろう。 働要因が極めて欠乏した経済に他ならない。ある意味では開発 いるのである。オーリン的表現に従えば、輸出経済とは、土地 本、労働、企業能力の移動の上に発展したことを明白に示して 本書における第二の批判は、戦前の型の輸出経済がなぜ発展 に弱い事はゆるされるであろう。 的文献である。最初の試みである以上、恐らく経済理論的分析 る。特に未尾にある文献目録は有益である。その意味でも基本 最後に、本書は後進国に関する非常に多くの情報を伝えてい

は、輸出経済と対立する発展の型たる大西洋経済が国際的な資

とになる。